

地震の揺れ

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

地震の揺れと想定される被害

震度階級

震度は、その場所での地震のゆれを階級であらわしたものです。10階級の区分に分けられます。

マグニチュードと震度の違い

「マグニチュード」は、地震そのものの大きさ(規模)を表す単位です。一方「震度」は、地上のある地点での揺れの強さを10段階で表す尺度です。

「マグニチュード」と「震度」の関係は、例えば、「マグニチュード」の小さい地震でも震源からの距離が近いと地面は大きく揺れ、「震度」は大きくなります。また、「マグニチュード」の大きい地震でも震源からの距離が遠いと地面はあまり揺れなく、「震度」は小さくなります。

震度	揺れなどの状況
0	●人は揺れを感じない。
1	★ ●屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。
2	★★ ●屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。 ●電灯などのつり下げものが、わずかに揺れる。
3	★★★ ●屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。 ●棚にある食器類が音を立てることがある。
4	★★★★ ●ほとんどの人が驚く。 ●電灯などのつり下げものは大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。
5弱	★★★★☆ ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
5強	★★★★★ ●物につかまらなると歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。
6弱	★★★★★☆ ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。 倒れるものもある。
6強	★★★★★★ ●はわなないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
7	★★★★★★★ ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

想定される由布市の最大震度

●中央構造線断層帯による地震 …… **7**

●南海トラフの巨大地震 …… **5強**

●日出生断層帯による地震 …… **7**

●周防灘断層群主部による地震 …… **5弱**

●万年山-崩平山断層帯による地震 …… **6強**

●プレート内地震 …… **6弱**